



牧之原中学校 学校だより

やればできる

令和6年12月号



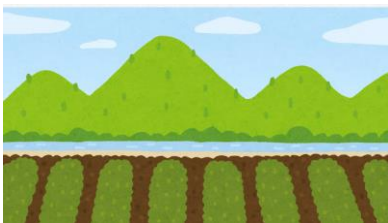
【牧中ブログ】

今いる場所で、自分にできることを一生懸命に

校長 田中伊礎子

5年前の12月4日、長年アフガニスタンで活動していた医師の中村哲さんが、移動の途中で銃撃され亡くなったという悲しい出来事がありました。中村さんの講演を直接2回聴いたことがあり、とても感銘を受け、それ以来、中村さんの活動には注目していたので、そのニュースを聞いて深い悲しみと怒りで、涙がしばらく止まらなかったことを覚えています。

中村さんは福岡県生まれ、子どもの頃から自然や虫が大好きで、大人になって医者となり福岡や佐賀の病院で働いていましたが、珍しいチョウを見たいと思ってアフガニスタンやパキスタンに出かけ、この国が大好きになりました。中村さんはパキスタンの病院で働き始めましたが、隣国アフガニスタンから戦争を逃れてパキスタンに移ってきたアフガニスタンの多くの人々を見て、病院の少ないアフガニスタンに診療所を作ることになりました。また、中村さんを応援する人々たちはペシャワール会というNGOを作り、中村さんの活動を支援しました。病院には多くの患者が訪れましたが、干ばつで食糧のとれなくなったこの土地では、病気の治療以前に「きれいな水が飲めること」「食糧がとれること」が大切だという思いに至り、井戸を掘る事業を始めたのです。



医師である中村さんは、井戸を掘ることは未経験でしたが、現地の人々と約1600本もの井戸を掘り、さらに、地下水が枯れ始めていることに気づいた中村さんは、考えた末に大きな川から水を引いてくる用水路を作ることになりました。難しい計算が必要でしっかりした準備をしなければならない用水路の建設なんて、素人の中村さんにできるのか…数学が苦手だった中村さんは

高校生の娘さんの数学の教科書を借りて勉強し直し、用水路を完成させたのです。用水路のおかげで水や食べ物に困らなくなった人たちは65万人にもおよび、アフガニスタン政府から特別にアフガニスタン人として認められたそうです。

中村さんの講演を聴いたとき、「なぜこんな活動をしているのか尋ねられるが、アフガニスタンの人が好きだから、それだけだ」とおっしゃったのが印象的でした。座右の銘は「一隅を照らす」(一人ひとりが自分のいる場所で、自らが光となり周りを照らしていくことが、私たちの役目であり、その積み重ねが世の中をつくる)という言葉。成し遂げたどんな偉業も中村さんにとっては、「目の前の困っている人のために自分のできることをやった。」ということだったのでしょ。

今でも、世界中でたくさん争いが存在していますが、「正義・不正義とは、明確な二分法で分けられるものではない」と言った中村さんのように、

一方的な価値観で正義を振りかざすのではなく、相手の立場に立って考えたり自分の価値観を考え直したりしてみることが、紛争をなくし、平和や社会問題の解決につながるのではないのでしょうか。

【牧中図書館にある中村哲さん関連本】

『中村哲 命の水で裁くを緑にかえた医師』 濱野京子

『カカ・ムラド～ナカムラのおじさん～』 ガフワラ原作

さだまさし他

力強く 共に夢に向かって 駆け上がる牧中生

将来の夢 ～ 専門高校フェスタ ～

11月15日(金)に福山高校で専門高校フェスタがありました。始良地区の専門学科のある高校が各科の紹介をしたり、eスポーツ・入浴剤の作成・妊婦体験・箸置き制作などの多くの体験ができました。キャリア教育の一環で全校生徒参加し、今後の進路選択の参考になればと思います。

～感想～ ○ たくさんの学科があり、楽しかったです。分からないことを丁寧に高校生が教えてくれました。チャレンジショップでのeスポーツ体験がおもしろかったです。 (3年 池田 陽向)

○知らなかった専門高校があり、体験でき楽しかったです。看護体験で赤ちゃんの心臓の音が聞けて貴重な体験でした。 (2年 中園 彩心)

○ゆっくり作れなかったけど、高校生が教えてくれて、入浴剤が上手くできました。どれも体験したことがないものばかりで、全部楽しかったです。

(1年 藤迫 穂華)



「まず 知ること」～進路について講演会～



11月14日に鹿児島県教育振興会(統一模試主催)取締役の山之内信一さんをお招きして家庭教育学級が開催されました。「鹿児島県の入試傾向とこれからの学び」と題して、昔と大幅に違う入試傾向や私立高校への対策、これからどのような学びが求められるかなどとても興味深い内容でした。

困ったときは・・・SOSの出し方教室

11月22日に、1年生で、担任の松岡教諭とスクールカウンセラーの永田先生による「SOSの出し方教室」の授業を行いました。ストレスへの対処方法、援助希求行動の大切さを学びました。

～感想～ ○つらい気持ちになったときは、信頼できる人や友人に相談しようと思いました。相談される側になったときは責めずに聞いてあげようと思いました。 (1年 小島 司)

○相談することが大切と分かった。される側になったときの対処も分かった。これから活かしていきたい。

(1年 立和田 莉子)



生徒の輝き ～各種表彰～

○税に関する作文コンクール

南九州地区納税貯蓄組合連合会会長賞
(3年 浦底 飛羽) ↓ 商工会・税務署の方と表彰後の写真

○健康福祉作品展

(ポスター部門)
学校保健会長賞
(1年 砂田 湮穂)

○妙円寺詣り剣道大会
男子団体優勝

(牧之原中・第一中他合同チーム 1年 國師 幸大 ・ 潮田 敬斗)



1月の主な行事(予定)

- 1月 5日(日) 福山地区二十歳の祝典
- 1月 8日(水) 始業式
- 1月9～10日 3年実力錬成テスト
- 1月17日(金) 命の教育の日
- 1月18日(土) 青少年育成の日
- 1月19日(日) 家庭の日
- 1月21～22日 鹿児島学力・学習状況調査
- 1月28日(火) 私立高校入試集中日
- 1月29日(水) 新入生説明会